## 「足立区地域公共交通計画 (案)」に対する区民等の意見の概要と区の考え方

いただいた意見を分類・要点整理しています。意見の全文は後日、区のホームページで公表します。

	いた思見を分類・晏思登埋しています。思見の主义は	
No	意見の概要	区の考え方
第2章	£ 2.2.4 バス	
1	路線バスやコミュニティバス「はるかぜ」の新規 路線整備や増便等を実施して欲しい。(類似意見 104 件)	
2	路線バスやコミュニティバス「はるかぜ」を廃止しないで欲しい。路線バスやコミュニティバスの廃止路線、花畑地域での社会実験バス「ブンブン号」を復活させて欲しい。(類似意見94件)	

No	意見の概要	区の考え方
		いて、花畑地域における取組みを追記します。
3	バス以外の新たな交通手段でもシルバーパスが使えるようにして欲しい。シルバーパスを申請しやすくして欲しい等シルバーパスの運用に関するご要望。(類似意見8件)	東京都シルバーパスは東京都の条例施行規則で定められている路線のみの利用となっており、それ以外の交通手段では利用することができません。 申請方法等のご意見につきましては、東京都シルバーパス制度を実施している社団法人東京バス協会に共有させていただきます。
第2章	2.2.5 自転車	
4	自転車レーンを整備して欲しい。(類似意見37件)	令和6年7月に策定した足立区自転車活用推進計画では、施策①「自転車走行環境の整備」として、自転車レーン等の計画的な整備を位置付けています。本計画(案)においても、足立区自転車活用推進計画等の関連計画をはじめ、各計画と連携・整合を図り、取組みを進めていきます。ご指摘を踏まえまして、本計画(案)第1章「1.1計画の位置づけ」におきまして、計画間の連携を強調のうえ、別途、本計画(資料編)にて関連計画について記載します。
5	自転車レーンが狭くて怖い、走りにくい。(類似意 見8件)	足立区自転車活用推進計画では、自転車走行環境の整備形態選定 基準として、国土交通省並びに警察庁が定めた「安全で快適な自転 車利用環境創出ガイドライン」に準じて、自動車交通量や通行速度、 道路幅員等の状況を勘案し、整備手法を決定することとしています。 今後、整備を行う路線につきましては、上記選定基準に基づき、 安全で快適な自転車走行環境の整備に努めてまいります。

No	意見の概要	区の考え方
6	自転車利用のルールが守られていない。交通ルール・マナーの徹底を促して欲しい。(類似意見 15 件)	自転車利用のルールにつきましては、小学生に向けた自転車教室、中高生向けのスタントマンによる交通事故再現の交通安全教室、住区センターでの講話などを通じた成人・高齢者への普及啓発、あだち広報や区 HP、SNS による広報活動、街頭での注意喚起活動、各種キャンペーンを実施・拡充し、引き続き自転車利用者への交通ルール・マナーの徹底に努めます。
7	駐輪スペースの確保や駐輪場の増設等を実施して 欲しい。(類似意見4件)	足立区自転車活用推進計画では、施策②「自転車駐車場の整備等」として、老朽化した区営自転車駐輪場や駐輪場機器等の計画的な改修による適正な保全のほか、まちづくりの動きに合わせた駅周辺駐輪施設の将来の配置計画に向けた検討を位置付けています。また、民営自転車駐車場補助金交付制度を活用した、駐輪施設が不足する地域への駐輪施設の増設を実施していきます。本計画(案)におきましても、足立区自転車活用推進計画と連携・整合を図り、第6章取組1では、「サイクルアンドバスライド」として、駅へ向かう主要なバス停にある駐輪場の活用促進を検討していきます。
第2章	〔 2.4.1 公共交通不便地域に対する取組み	
8	「足タク」の状況を記載して欲しい。利用者から の声を踏まえて制度を充実させて欲しい。(類似意見 10件)	「足タク」につきましては、令和6年12月末までの利用状況や4社のタクシー事業者から継続の意思確認を頂けたこと等から、本格運行移行判断基準を満たしたため、令和7年4月1日から本格運行となります。 利用者登録をしている方(登録のみで利用していない方も含む)へのアンケート調査を実施し、実証実験中も乗降スポットの追加や

No	意見の概要	区の考え方
		運行方法の変更等により柔軟な対応を実施してきました。 今後も、子育て世代割引券の交付やタクシー事業者の清算事務等 の省力化などを検討し、利用者のお声に沿った運行を実施していき ます。 ご指摘を踏まえまして、本計画(案)第2章「2.4.1公共交通不便 地域に対する取組み」におきまして、現在までの状況や本格運行に ついて追記します。
第2章	2.4.3 高齢者・障がい者等への移動支援の取組み	
9	病院等へ行くのにタクシー代を補助して欲しい。 (類似意見9件)	外出困難な心身障がい者に対しタクシー乗車時に利用できる「福祉タクシー・自動車燃料助成券」を交付しています。外出困難の程度については様々なご意見があることと思いますが、福祉タクシー券の交付基準につきましては、現在の交付基準を継続していく予定です。
第3章	3.4 公共交通サービス水準の設定	
10	交通空白地域の要件の見直し、公共交通サービス 水準の設定の根拠と数値指標の設定の根拠をもっと 分かるようにして欲しい。(類似意見2件)	本計画(案)第3章「3.4 公共交通サービス水準の設定」におきまして、公共交通サービス水準の設定手法について詳細を記載しております。  ご指摘を踏まえまして、本計画(案)第5章の各指標に、設定根拠を追記するとともに、別途、本計画(資料編)にて設定根拠の解説を記載します。
第6章	取組2 待合環境の整備	
11	路線バスやコミュニティバス「はるかぜ」の停留 所にベンチや上屋を設置して欲しい。(類似意見 21	本計画(案)第6章の取組2「待合環境の整備」では、バス停へのベンチ・上屋・点字シート等の整備について位置付けています。令

No	意見の概要	区の考え方
	件)	和5年度末までで、コミュニティバスはるかぜのバス停留所へは、 歩道幅員が確保されており、ベンチや点字シートの設置が可能なす べての箇所に設置が完了しました。 令和7年度以降は、路線バスについても、主な停留所に年5か所 程度のペースでベンチ・点字シートの設置を進めていく予定です。 バス停留所への上屋の設置につきましては、「足立区路線バス停留 所環境整備費補助制度」により、運行事業者に対し、バス停留所へ の上屋整備を支援していきます。
第6章	取組3 交通施設・車両のバリアフリー化	
12	区内を運行するバス車両全てのノンステップ化やバリアフリー対応をして欲しい。(類似意見5件)	区内を運行するバス車両のほとんどがノンステップバスとなっており、ワンステップバスを運行している一部事業者についても、車両の買い替えに合わせて順次ノンステップバスの導入を推進していきます。 また、今後、デマンド交通等の新たなモビリティ等の導入や、地域内交通サポート制度による地域内交通の導入にあたっては、バリアフリー対応車両での運行が可能となるように、区が運行事業者を支援していきます。
第6章	・ ・ 取組4 鉄道の新線・延伸	
13	地下鉄8号線の延伸を早期に実現して欲しい。(類似 意見2件)	計画(案)第6章の取組4におきまして、地下鉄8号線の延伸を含めた、鉄道新線の整備促進を位置付けています。今後も、関係者と連携・協力しながら、イベント活動、会議等を通じて、鉄道新線の整備実現に向けた取組みを推進していきます。
第6章	5 取組5 鉄道の混雑緩和	

No	意見の概要	区の考え方
14	日暮里・舎人ライナーを始めとした鉄道の混雑緩和を実施して欲しい。(類似意見 21 件)	本計画(案)第6章の取組5「鉄道の混雑緩和」では、混雑緩和に向けた駅施設・車両の整備やオフピーク通勤の促進について定め、第5章の指標8「鉄道の平均混雑率」にて、現状よりも混雑率が減少していくことを目標とし、取組みの推進及びモニタリングを実施していきます。 日暮里・舎人ライナーでは、直近では令和7年2月3日(月)に実施した運行ダイヤの改正によるオフピーク時間帯の増便をはじめ、車両数の増加やロングシート化、時差ビズキャンペーン等、ハード・ソフト両面から混雑対策を取り組んでいますが、対策を上回る利用者の増加によって、令和5年度の混雑率調査では171%と、全国で最も高くなっています。 こうした状況を踏まえまして、令和7年1月に、区から東京都交通局へ混雑対策についての要望書を提出しました。本計画(案)第6章「取組5鉄道の混雑緩和」でも、混雑対策についての要望状況を追記します。
第6章	f 取組8 地域が主体となった地域内交通の導入支援	<u>य</u> र
15	地域内交通の導入にあたっては高齢者への配慮や 安全面の確保をお願いしたい。(類似意見 21 件)	「地域内交通導入サポート制度」は、地域の交通課題を最も把握している区民が主体となって検討に取組む制度ですが、導入を検討していく際は高齢者への配慮や安全面の確保について区としても助言を行っていきます。
16	常東地区・花畑地域の地域内交通では、地域の要望を踏まえて運行曜日や時間、車両、利用方法を検討して欲しい。(類似意見 12 件)	常東地区・花畑地域は「地域内交通導入サポート制度」のモデル 地区として、運行計画等を地域と連携して検討してきています。実 証実験開始後も利用状況や地域の意見等を踏まえながら、必要に応

No	意見の概要	区の考え方
		じて運行計画を見直ししていく予定です。
第6章	・取組9 はるかぜ路線維持事業	
17	区が運行事業者を支援して、区民の移動手段を確保して欲しい。(類似意見 10 件)	計画(案)第6章の取組9「はるかぜ路線維持事業」では、令和6年度から、運転士確保のための人件費増額分も含めた運行経費を区が負担する協働事業を2事業者7路線にて開始し、区とバス事業者の双方が連携・協働して区民の移動手段を維持していくとともに、周辺路線も踏まえた路線再編やダイヤ改正等、利用実態に合った最適な運行を推進します。
第6章	t 取組 11 自動運転・AI 配車等の導入	
18	自動運転バスの導入で交通の不便さを解消して欲しい。(類似意見2件)	計画(案)第6章の取組11におきまして、自動運転車両の導入 の可能性について検討していくことを位置付けています。現在、導 入検討に向けて、市街地での自動運転バスの実証運行を実施してい る大田区への視察などを実施し、他自治体の情報も随時得ながら、 足立区内での展開について検討を進めていきます。
第6章	取組 13 公共交通従事者の待遇改善	
19	バス運転士の待遇を改善して欲しい。 (類似意見 10 件)	計画(案)第6章の取組13におきまして、バス事業者と連携し、 運転士確保に向けた効果的な支援策の検討について位置付けてお り、早期に実施できるよう検討を進めます。
第6章	〒 取組 16 子ども向け広報啓発事業	
20	子どもたちに向けて公共交通に関する教育を行って ほしい	計画(案)第6章の取組16におきまして、現在実施している区内のイベントでの啓発活動に加えて、地域交通の課題や環境問題を

No	意見の概要	区の考え方
		考えるきっかけとして、小中学生を対象としたバスの乗り方講習等 の広報啓発活動の検討と実施について位置付けています。
第6章	虹 取組 17 低炭素型車両の導入	
21	電池自動車の導入は電池の製造に Co2 排出量が多い等の様々な課題があり、慎重にしてください。	ご指摘の通り、通常のガソリン車・ディーゼル車に比べて、EV 車両は製造時の CO2 排出量が多いことは承知していますが、長期的に見れば全体での CO2 排出量は削減されると考えています。導入にも多額の初期費用がかかることから、技術革新後に一度に導入するのではなく、車両の更新に合わせた、低炭素型車両の導入を促進していきます。
計画全	体に関すること	
22	公共交通を区政の重要な柱として、誰もが移動できる公共交通を推進して欲しい。(類似意見23件)	本計画(案)第4章では、本計画における目指すべき将来像「持続可能な公共交通を実現する未来都市・あだち〜協働(みんな)で支える地域公共交通〜」を掲げ、3つの基本方針と、4つの計画目標を定めています。 公共交通を取り巻く社会情勢の変化や、足立区における公共交通の課題へ対応し、頂いたご意見を踏まえ、計画(案)に定める取組を推進していきます。
23	パブコメ募集を区の広報や区議会、その他十分に計画案を区民に知らせ、審議経過も知らせる上で決定する方法を取って欲しい。(類似意見3件)	足立区地域公共交通計画(案)につきましては、地域の方も含めた協議会にて内容を審議し、その結果を区 HP で公表しています。パブリックコメントの実施にあたっては、あだち広報12月25日号や区の SNS で周知を行い、適宜、区議会への報告を実施しています。
その他	1	

No	意見の概要	区の考え方
24	バス利用に関する感謝の声(類似意見2件)	ご意見いただきありがとうございます。頂いたお声は足立区地域 公共交通活性化協議会を通じてバス事業者と共有させていただきま す。
25	その他、直接的に本計画 (案) に関係しないご要望 (類似意見 60 件)	頂いたご意見につきましては、関係部署・関係機関へ共有させて いただきます。